

日南町立小・中学校教員の時間外勤務実態について

令和 6 年 7 月

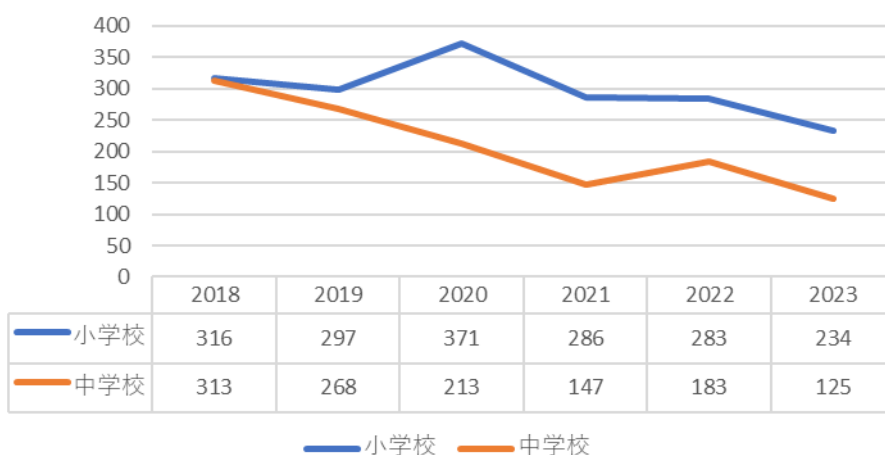
日南町教育委員会

1. 本資料のデータについて

- ・ 本資料は鳥取県市町村（組合）立学校に導入されている勤怠管理システム（2017 年 12 月導入）から得たデータに基づくものである。
- ・ 2017 年度および 2024 年度については、年間の集計ができないために対象外としている。
- ・ 対象教職員は、常勤職員（校長、教頭、教諭、養護教諭、栄養教諭、常勤講師、事務職員）であり、短時間勤務教諭、非常勤講師は含まない。

2. 集計結果

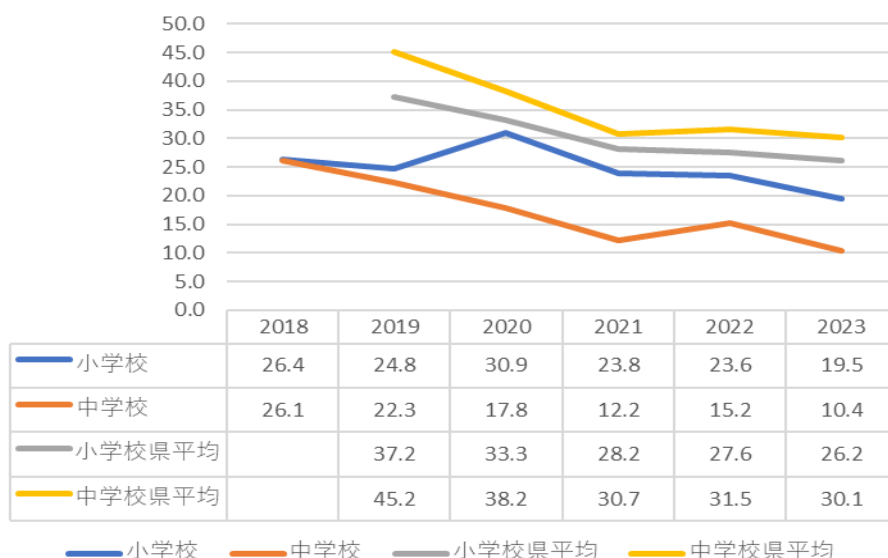
時間外勤務年間合計平均（時間）



2018 年度（平成 30 年度）に「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」が定められて以降、大きく減少。

特に、中学校は半分以下に減少した。

時間外勤務月平均（時間）



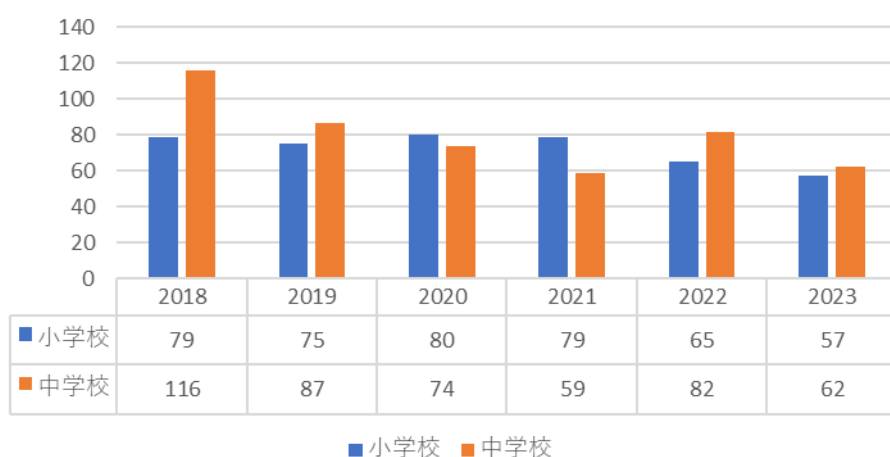
県平均（2019 年度～）と比較すると、従来から本町の時間外勤務は少ない。原因としては、子どもの人数が少ないこと、職員が遠距離通勤であり、通勤に要する時間が長くなることなどがあると推察される。

2019 年度比

日南小 78.9%（県 70.4%）

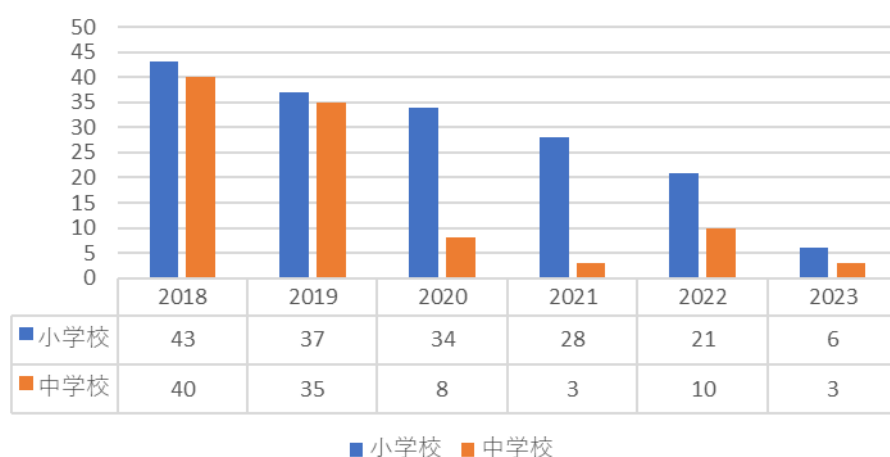
日南中 46.6%（県 66.6%）

時間外勤務最大値（時間）



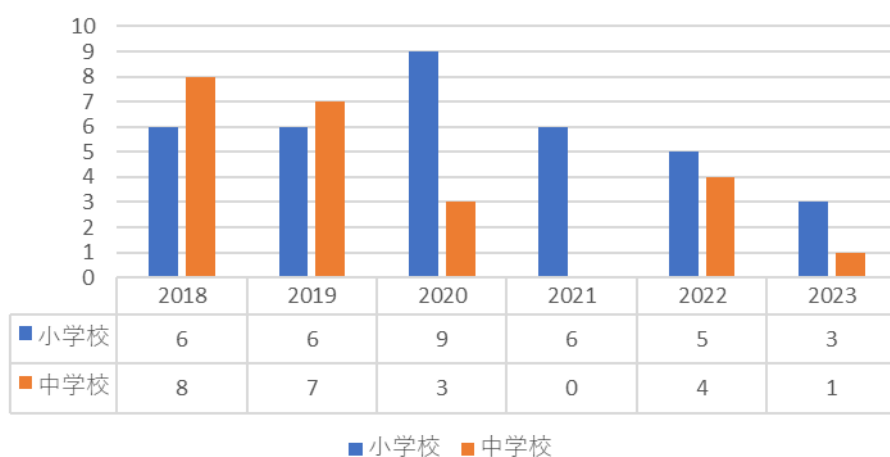
部活動の方針（2019年3月策定）によって部活動の時間が制限されたこともあり、中学校の減少幅が大きい。個人差が大きく、分掌業務や個々の働き方によるところが大きいと考えられる。

45時間以上/月（延べ人数）



部活動の負担軽減によって中学校の改善が先行したが、小学校も徐々に減少してきている。

360時間以上/年（人）



年間360時間の上限を超える教職員は、全体としては減少しているが、学校の状況等に起因する増減が発生している。